臨床実践活動報告書

1．実践期間、実践活動機関名、主な実践活動

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 実践期間  （　年　月～　年　月） | 実践活動機関名 | 職名 | 勤務形態  （常勤／非常勤） | 日／週  時間／日 | 主な実践活動  職務\*1（面接、検査、発達相談など）の具体的内容 |
| 例 | 2008年6月～  2012年12月 | ○○病院 | 臨床心理士 | 非常勤 | 2日／週  8時間／日 | 小中学生（適応障害、PDDなど）：動作法・プレイセラピー、WISC・K-ABC  成人（うつ病、統合失調症など）：SST・集団療法、WAIS・PFスタディ  ・・・・ |
| 1 |  |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |  |

※必要に応じて、行を増やしたり、行の幅を変えて下さい。

\*1 主な実践活動については、どのような対象に対してどのような支援技法（たとえば言語面接、プレイセラピー、集団によるSST、動作法など）を行ったのか、また、どのような検査を行ったのかを明記して下さい。

2．自ら担当した臨床実践について3事例報告して下さい。

（発達障害を含む心身障害または虐待児・者への支援に関する臨床実践を含むこと）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No\*2 | 実践期間  （年 月～年 月） | 頻度 | 対象者  （年代・  性別） | 主訴（診断名\*3） | 面接概要：見立てと方針（支援技法含む）、面接経過について400字程度で説明してください。 |
| （例） | 2007年10月～  2009年2月 | 1/2W | 10代  男性 | ・朝、学校に行こうとするとお腹が痛くなる | ○○○○○ |
| （例） | 2008年5月～ | 1/1W | 10歳未満・女性 | ・クラスでのトラブルが多い  （自閉症スペクトラム障害） | 添付資料①を参照 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※必要に応じて行の幅を変えて下さい。

※主要業績に事例研究を含めた場合は、それ以外の臨床実践について報告して下さい。なお、事例研究論文や学会発表の抄録等（抜刷・コピー）があれば、概要を記載する代わりにそれを充てることができます。

\*2 Noには、実践活動機関名に対応する番号を記入して下さい。

\*3診断名がない場合は、記載する必要はありません。

上記のとおり相違ありません。

　　年　　月　　日

氏　　名　　　　　　　　　　　　　印